

川崎市民生委員児童委員協議会

# 川崎 民生委員 児童委員 情報

川崎市民生委員児童委員協議会 川崎市中原区上小田中6-22-5

発行人：今 富子 編集人：山木 春雄



幸区の癒しと祈りのスポット

夢見ヶ崎動物公園と戦没者慰霊塔がある加瀬山は、四季折々の自然に恵まれ、市民の憩いの場となっています。

川崎市・御幸西第一地区 網屋英子会長 提供

### 目次

各区・地区民児協だより .....	P2
主任児童委員部会の活動報告 .....	P5
顕彰式典・関東ブロック大会の報告 .....	P6
コラム「第7期川崎市地域福祉計画の策定と 今後の民生委員児童委員の活動環境整備に向けた取組」...	P7
令和5年度 表彰の紹介 .....	P8
編集後記 .....	P8



## だから、私は民生委員 また少し、自分を好きになった

中央第一地区  
荻沼 康弘

中央第一地区民児協は、JR川崎駅・京急川崎駅からカルッツかわさき・川崎競馬場周辺までが活動範囲です。担当区域の数は25、現在は民生委員19名（男性3名、女性16名）と主任児童委員2名で活動中。欠員は6名です。

### 【活動について】

定例会は毎月1回、原則第3土曜日の午前10時より福祉パル会議室で開催しています。前月の活動報告、会議等出席者より報告、質疑応答、今後の予定、各種会合出席者へのアドバイス等をおこなっています。

コロナ禍で、高齢・障害者部会、児童部会の会合ができなかったのは残念でしたが、委員相互の連絡は頻繁で問題なくすごしました。

### 【子育て支援】

#### ・子育てサロン『びよびよ』

毎月第2水曜日 午前10時～11時半

対象は0～3歳児の子どもと保護者

教育文化会館にて開催

主任児童委員2名を中心に、民生委員全員を2班に分けて全員参加でおこなっています。会場は毎回アットホームな雰囲気なかで手遊び、歌、

工作などを通して、参加者と民生委員の情報交換の場となり、親子の憩いの場になっています。また地区の特色ですが、外国人居住者が増えていることから、外国人ママと日本人ママとの交流会を開催しました。各国の子育てについて紹介、交流を深めました。

#### ・さわやか運動

小学校2校、中学校1校で実施しています。毎月1回、朝8時10分より25分まで校門に立ち『おはようございます』と声をかけています。地域の子ども達をみながら、支援体制ができればと活動しています。

#### ・その他

川崎区社会福祉協議会を通して、食糧支援を行っています。また児童部会が中心となり、古切手や使い損じのハガキ等を集めてユニセフ募金への協力も続けています。

このように我々は地味な活動が多いですが、関係機関、地域の方々の協力を得て民生委員活動を続けていけることに感謝しています。

## 高齢者から赤ちゃんまで異世代交流サロン

御幸西第二地区  
笠原 好美

御幸西第二地区民児協は幸区の中でも中原区に隣接し、高層マンションもなく、住宅地が多い地区です。最近では、古い戸建てが解体された跡地に2～3軒の3階建ての新築戸建てが建ち、保育園や幼稚園に通う子を持つ若い世代が転居してくるケースが目立っています。長年住んでいる高齢者世帯と若い世帯はどうしても関わりが薄く、交流を持つことが少ないように感じます。

そこで当民児協では、平成30年から古市場老人いこいの家で高齢者から赤ちゃんまで異世代交流を目的としたサロンの開催を、管理者である幸区社協の了承を得て始めました。月1回2時間ほどですが、大広間を開放し、出入り自由な異世代交流サロンです。お茶やコーヒー、紅茶などの飲み物、子ども向けのおもちゃやお昼寝の布団、大人用にも頭の体操となるゲームや折り紙等を用意しました。第2木曜日に開催することから『もくもくサロン』と名前も決まり、スタートしました。

なんとか軌道に乗りスタートした『もくもくサロン』ですが、新型コロナウイルス感染症のため3年余



り休止を余儀なくされました。休止している間に多くの参加者を集める対応策を考えました。そのうちの1つが、コーヒー店を営んでいる方に依頼し「美味しいコーヒーの淹れ方講座」を民生委員全員が受けるという案です。この時期は、定例会以外は民生委員が集まる機会がなかったため、楽しく実践できて一石二鳥でした。助成金を利用して、本格的にコーヒーを淹れる道具を揃え、令和5年2月から『もくもくサロン』を再開しました。

現在の悩みは、コロナ後なかなか参加者が戻ってこないことです。子育て支援センターへ託児ボランティアに行った時にお誘いしますが、職員の方も声掛けをして協力してくれます。支援センターには、大人と話したいと訪れるママ達が増えていると聞きます。子どもの話だけでなく、気軽に世間話をする人を求めているのでしょうか。『もくもくサロン』が、いこいの家を訪れた高齢者と、コロナで実家にも行けずずっと一人で頑張ってきたママ達が自由に話のできる場所となり、応援団の1つであり続けられればよいと思っています。



## 定例会を楽しく有意義に

大戸第一地区  
保坂 幸江

大戸第一地区は、中原区の宮内地区・<sup>こうじ</sup>神地地区の広い範囲を担当しています。宮内・神地・橋場・上小田中・新友会の大小5つの自治会・町内会からなる地域です。主任児童委員2名を含む24名で活動しています。

地区が大きく2つに分かれているため、定例会の会場も4月～9月は宮内公民館・10月～3月は神明会館を利用し、第3金曜日の午前に開催しています。

定例会においては活動時に起きた問題点、疑問点などを出し合い、話し合い、皆で考え、時には行政からの助言をいただきながら解決するように進めています。

6月の定例会では東京都臨海広域防災公園にある「そなエリア東京」の視察研修を行いました。ゲーム形式で災害時の対応や心構えを学び、



民生委員児童委員として災害時の活動を考える機会を持ちました。

今回の改選で新任・2期目の委員が半数となり、仕事を持って活動する委員も増加しました。しかし民生委員児童委員の任務の大切さを理解し、定例会には仕事を調整してほぼ全員出席しています。そのためにも定例会を楽しく、有意義な時間が持てたと思えるようにしなければと思っています。

私自身、新任会長です。会長に就任して半年がたちましたがまだまだ手探りの状態です。研修会や他地区の状況を参考にさせていただき、また委員の皆と考え、話し合いながら定例会の在り方を考えて行こうと思っています。



## 笑顔の活動スタッフも楽しく参加

橘第二地区  
石田 勝明

橘第二地区民児協では、新型コロナウイルス感染症の規制緩和を受けて、「ふれあい会食会」と3つの子育て支援活動を再開しました。

「ふれあい会食会」(年6回、子母口老人いこいの家にて開催)では、コロナ以前は食事の調理提供をしていましたが、再開後は調理提供を見合わせ、外注の弁当(お赤飯、季節の和菓子)の持ち帰りに切り替えました。会食会は午前中に二部制で開催し、利用者は各回15名程度、開催時間は1時間としています。

内容は、利用者の血圧測定と健康相談を行った後、開会の挨拶、地域包括支援センターの方々のお話と体操等、そしてスタッフによる笑いを交えた健康体操を行い、最後は簡単で健康な食事の摂り方・作り方の話で締めくくります。1時間と短い時間ではありますが、利用者には楽しんで頂く事、それにはスタッフも楽しんで参加する事を心掛けています。



り」(年11回、高津市民館にて開催。区内の7地区民児協と当番制で実施)、「あつまれ!ひよこキッズ」(年5回、プラザ橘にて橘第三地区民児協と共催)、「あつまれ!1・2キッズ」(年6回、プラザ橘にて橘第三地区民児協と共催)の3つを行っています。

各子育て支援活動共にスタッフはなるべく親子に寄り添い、

悩みを聞いたりお話しをしたり、笑顔での参加を心掛けています。最初は子ども達が泣いたり、保護者も戸惑っていましたが、帰る頃には子ども達は会場を走り回り、保護者同士のコミュニケーションの輪が出来ていたり楽しい光景が見られました。

「ふれあい会食会」と各子育て支援活動に参加させていただいて思う事は、楽しく参加すると必ず笑顔が返って来るという事です。9月からは「子育てひろば」(プラザ橘にて来年3月迄7回)も始まります。より一層笑顔で楽しく参加してまいりたいと思います。





## 向丘第二地区民児協の活動概要

向丘第二地区  
小川 芳郎

向丘第二地区民児協は定数25名（主任児童委員2名含む）で、高齢者福祉部会、障がい児（者）部会、合同児童部会及び食料支援部会を設け、宮前区の五所塚、平及び神木本町の全域を担当区域とし、約10,500世帯、22,000人の方々を対象として活動しています。

高齢者福祉部会は、地区社協の一員として年6回のふれあい会食会活動を実施しています。この3年間は新型コロナウイルス感染症のために食事会は開催できませんでしたが、利用者宅への訪問等により利用者との交流を図り、安否確認を行ってきました。また、「会食会だより」を創刊、利用者に配布することで、利用者との新たな交流の場を設けました。この「会食会だより」には、会からのお知らせ、時候点描、情報コーナーを設ける他、利用者さんの声欄を設け、少しでも楽しく読んで頂けるよう工夫をしています。令和5年度計画では食事の提供を含む食事会を再開する計画を立て、メンバー一同張り切っています。

障がい児（者）部会も、地区社協の一員として、日帰りバス旅行や茶話会などに協力してきました。

コロナのため、活動ができなかった間は独自に研修会などを行ってきましたが、利用者の方々の期待も大きく、従来のような活動が再開できる日を待ち望んでいます。

合同児童部会は、向丘第一地区民児協の児童部会と合同で活動しています。小、中学校や乳幼児施設、その他各種施設、行政機関等との情報交換をはじめ、民生委員児童委員及び主任児童委員に求められる様々な期待に応えられるよう日々、研修その他の活動を合同で行っています。

食料支援部会は、「フードパントリー向丘」の名称で有志が令和3年9月に立ち上げました。令和5年6月には第6回を数え、利用者も19世帯から40世帯を超える規模になりました。最近では支援希望者が増加しているのに、提供いただける食料等が減少している事が悩みの種となっています。



## 多摩区の委員全員で意識の向上を

菅第二地区  
小池 多恵子

多摩区民児協では令和5年7月24日（月）区役所会議室に於いて令和5年度全体研修会を開催し、173名の委員が参加しました。

山梨県立大学 高木寛之准教授を講師にお迎えして「共生社会における民生委員児童委員への期待について」というテーマでお話いただきました。「地域共生社会とは」「伴走型支援とは」更にはその中の民生委員児童委員の果たす役割について研修しました。



講義のあと3地区民児協から地域での活動についてパネルを通して紹介がありました。

①菅第二地区【テーマ】あいさつ・みまもり運動  
地区内には高校、中学校、小学校3校があります。児童らの登校時の安全見守りのために、地域内6、7箇所「あいさつ運動」を実施しています。また、下校時には町会の広報車を借

用してパトロールを実施し、子ども達との交流ができています。

②登戸地区【テーマ】子育てサロン

平成15年（2003年）登戸地区民児協児童部会は子育て支援事業として、0～3歳を対象に子育てサロン「ひよっこ」を発足。コロナ禍を経験し、現在は予約制で毎月1回15組を対象に実施しています。登戸地区は再開発で地域の様子がどんどん変化しています。新しい住民との関わり方が課題です。

③生田第二地区【テーマ】地域カフェ

活動強化方策のひとつとして、地域のつながり強化を目的に「誰でも気軽に立ち寄り、気楽に話ができる制約のないゆるいカフェ」を作ろうとはじめました。「ゆるカフェ・ミンジー」月1回11時～16時まで開催、ゆる～く立ち寄る方が増えています。

発表後、高木先生と質疑応答があり、これらの活動と、地域とのつながりについて講評をいただきました。今後の活動に活かして多摩区全体で共生社会実現に取り組みたいと思います。

## 高齢者の健康づくりをめざして

柿生第一地区  
橋本 雅之

本年5月のある日、朝刊を手にして読み進めると、「川崎・麻生区が長寿全国一」との見出しの記事が目飛び込んできました。一瞬何のことかと思いましたが、これは厚生労働省が発表した2020年の平均寿命で、麻生区が全国の市区町村で最も長寿（男性84.0歳、女性89.2歳）だったという内容でした。

普段、高齢者に関しては、認知症やゴミ屋敷問題、孤独死など難しい課題や暗い話題が中心となることが多く、このような明るいニュースに触れると嬉しいものです。昨今、人生100年時代と言われて久しいですが、高齢者の健康づくり（認知症予防など）のために、民児協としてさらなる取り組みの必要性が求められているように思います。

当柿生第一地区では、コロナの影響で2年余り、特に高齢者関係の活動を休止していましたが、この4月からいこいの家を会場に毎月1回の「おしゃべり会」を再開しました。この活動は、平成14年（2002



年）からスタートしましたが、いこいの家の有効活用の1つとして、高齢者に時間と場所を提供し、高齢者が孤独にならないように配慮して活動してきたものです。これまでもオカリナ・コーラス・手品・フラダンスなどの鑑賞をはじめ、輪投げ・ボウリングなどのゲームや、近隣の保育園児との交流など幅広い内容で行ってきました。今年度も既に落語やギター演奏を楽しんでもらっています。



引き続き様々な内容を計画していますが、この会は高齢者の誰もが気軽に集い楽しめるよう門戸を開いたイベントとして実施すると共に、一人一人に寄り添い見守るために会員登録を行っており、毎月の参加状況の把握や声掛けなどを励行しています。たまたまこの5月のつどいには、テレビ局スタッフが参加者へのインタビューに来ました。これからもこの「おしゃべり会」の充実を図り、地域の高齢者の皆さんの健康寿命の伸びに寄与したいと考えています。

## 男性委員大活躍の子育てサロン「なのはな」

主任児童委員  
佐藤 淳子

生田第二地区民児協の、民生委員児童委員と主任児童委員の手作りの子育てサロンをご紹介します。（毎月第2金曜日、祝日含む年12回開催）

コロナ禍でも完全中止にせず、神社の境内を借りて玉入れ等の身体を使った遊びをしたり、予約制や二部制にしたり、時間短縮したり工夫しながら続けて来ました。

内容は『参加者の自己紹介』『お誕生月のお祝い』『絵本の部屋』『季節のお楽しみ行事』『フリータイム』で構成されています。

子育てサロンというと女性委員中心のイメージがありますが、「なのはな」は男性委員の活躍なくしては語れません。司会や劇、お正月、節分、X'mas等、出し物の要を担っています。例えば男性委員の司会は、普段は接する事のない若いママと子ども達を前に緊張しながらも優しい口調で始まります。『絵本の部屋』では、大型絵本のめくり手として活躍。リハーサルをして読み手とタイミングを合わせます。お正月遊びでは、何十年振りにコマ回しを練習して本番で大成功！思わず万歳でママ達からも拍手喝采。ママ達も、コマ回しやけん玉、羽根つきに参加して盛り上がる雰囲気を作り出します。

男性委員の名物出し物の1つが、動物絵のペープサー

トを使った【いない・いない・ばあ！】です。猛練習してタイミングを合わせて最後のばあ！で男性委員が顔出しすると、可愛い音楽に乗って踊っていた動物達がニコニコの男性委員だった！とママ達は驚いて大爆笑。委員たちも何度見ても大笑いです。女性委員も男性委員の魅力を引き出すべく下支えを惜しみません。

会の終わりには、ママのつぶやきを集めています。「Are you ok?」（大丈夫？）のパネルを作成し、思っている事や感想などをパネルに貼ってもらいます。「夜泣きはいつまで続くの？」「離乳食を食べてくれない」「復職が心配」ママ達の思いは様々です。内容によっては保健師へ繋いだり、ミニ講座の種になったりと、運営にも活かされています。

これからも無理なく楽しく協力し、子育てに追われるママ達のオアシスになれるよう活動していきたいと思えます。





## 令和5年度 川崎市民生委員児童委員顕彰式典

情報誌編集委員  
大沼 洋子

今年度の顕彰式典は、5月26日（金）10時30分より、緑ヶ丘霊園内にある「民生委員児童委員の碑」の前において、表彰者3名（20年勤続の民生委員児童委員）と全理事が出席し、来賓として川崎市長（代理：川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 菅野智宏室長）、川崎市社協 浮岳堯仁会長、川崎市民児協 富岡茂太郎顧問、森昭司顧問のご参列のもと執り行われました（物故委員3名のご遺族は欠席）。ここ数年、コロナ禍のため規模を縮小しての開催が続き、また昨年度は市民児協設立50周年記念として川崎市民生委員児童委員大会と併せて行ったため、従前どおりの開催は5年ぶりでした。

式典は、星川美代子副会長が司会を務め、村田清子副会長の開会のことばで始まりました。民生委員児童委員信条・児童憲章前文の朗読を横島正志常任理事が行った後、物故委員のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げました。

続いて、今富子会長より主催者挨拶があり、「民生委員児童委員の碑」は制度創設70周年の記念事業として、昭和61年に発祥の地である岡山県から石を取りよせて建立されたもので、「碑」に刻まれている「隣人愛」の精神を持って活動していきたいと述べられました。

川崎市民児協会長表彰では、中央第一地区民児協 荒井陽子委員、大師第一地区民児協 清水仁子委員、小田地区民児協 宮崎とみ子委員に今会長から表彰状と記念

品が授与されました。

来賓挨拶では、川崎市長（代読：菅野室長）から、民生委員は、隣人愛の精神に基づき地域の方々の相談・支援活動など献身的な活動を展開されており、そのことが、市政運営の基本姿勢の1つである「最幸のまちかわさき」を具現化する大きな力になっている、と委員活動に対する感謝の言葉がありました。

川崎市社協 浮岳会長は、「民生委員児童委員の碑」の建立にあたり、偶然にもご自身が川崎市役所で民生委員担当をしていた時に、川崎市民児協 原泰造会長の折衝が絶え間なく行われ、会長の熱心な要請に応じて建立されるに至ったという「碑」建立の経緯を話されました。

受賞者代表の挨拶では、宮崎とみ子委員がこの受賞を励みに地域での福祉活動に努めていきたいと受賞の喜びを述べられました。

最後に小宮秀樹副会長の閉会のことばで締めくくり、式典は無事終了しました。



## 関東ブロック大会に参加して

常任理事  
山木 春雄

9月7日（木）～9月8日（金）、令和5年度第83回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会が、新潟市で開催されました。台風の影響で天候が危ぶまれましたが、なんとか大雨に遭わずに参加することができました。

1日目は、オープニングセレモニーで新潟市民生委員児童委員コーラスグループ「コーラスこぼと」による美しい合唱で迎えられました。開会・式典の後、基調報告などが行われました。

第2部で、三味線プレーヤー 史佳 Fumiyoshi 氏による「三味線と生きる～絶望から救ってくれた母の一言～」と題して記念講演が行われました。仕事で行き詰まりうつ病で苦しんでいる時、母親から「頑張りなさい」ではなく、「地元に戻りゼロからやり直しなさい」と言われ、この言葉で楽になったとのこと。それから、本格的に三味線の世界に入り活躍されています。母親との津軽三味線の合奏は素晴らしかったです。

2日目は4つの分科会にわかれ、それぞれのテーマで協議が行われました。

第1分科会：「一斉改選を終えて～新たななりて確保への取り組み～」

第2分科会：「民児協の新任委員等に対する活動継続支援」

第3分科会：「子育て・子育てを支える地域づくりのため

の民児協および児童委員・主任児童委員の取り組み」第4分科会：「アフターコロナの民生委員・児童委員活動～支援が必要な「気になるひと」への地域のネットワークと支援～」

第3分科会では、実践報告者として市民児協から、高津区主任児童委員部会長の若林豊茂美さんが「コロナ禍での活動～どんな時でも楽しんで～」と題して実践報告を行い、好評価を得ていたとのことでした。

私が出席した第4分科会では、栃木県・千葉県・埼玉県・横浜市の実践報告が行われました。共通しているのは、孤立者を出さない仕組み作り、ネットワークの構築、次に繋げる民生委員児童委員としての活動ということで、参考になる事例があり有意義な時間でした。

新潟は、美味しいお米やお酒があり、また海産物も美味しく、短い時間でしたが堪能することができました。



## 第7期川崎市地域福祉計画の策定と 今後の民生委員児童委員の活動環境整備に向けた取組

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 担当課長 久保 真人

地域福祉を推進するための「地域福祉計画」は、社会福祉法第107条に基づく計画で、同じ目的を持つ社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」と連携して推進することとされています。

川崎市では、地域包括ケアシステムの構築に向けた基幹的な計画と位置付け、計画期間を3年間として、今年度、第7期計画（令和6～8年度）の策定を予定しています。

地域福祉計画では、制度の枠組みや、これまでの「支える側」と「支えられる側」という関係を超越して、市民一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティを創るといふ地域共生社会の実現を目指しています。

これは、本市が進める地域包括ケアシステムの目指すところと同様です。

昨今、地域の生活課題と考えられている、高齢の親と働いていない独身の50代の子とが同居している世帯（「8050問題」）、介護と育児に同時に直面する世帯（「ダブルケア」）、障害のある子の親が高齢化し介護を要する世帯、このほか、いわゆる「ごみ屋敷」や、「ヤングケアラー」など、生活課題は複雑化・複合化しています。

こうした課題に対応していくため、第7期計画では、①地区カルテ等を活用して、小地域での互助を支える仕組みづくりを推進するため、アフターコロナの状況を踏まえ、地域での支え合いの人財づくり、見守り活動の充実などに向けた取組を推進します。

また、②ケアが必要な人の支援だけでなく、生きづらさを抱えた人たちの幅広い支援に取り組んでいけるように、医療・介護・福祉などの専門多職種の更なる連携を進め、介護予防の取組や地域の見守り活動などと連携した幅広い取組を推

進めます。

さらに、③「個別支援の充実」と「地域力の向上」に向けた取組を不可分一体で推進し、介護予防に限らない予防的な視点を重視し、民間企業等を含めた地域の多様な主体による誰一人取り残さない、包括的な支援体制づくりを目指します。

今後、地域の関係団体の代表や学識経験者による検討の場等での議論を踏まえ、11月下旬を目途に、計画の素案をまとめるとともに、それ

以降、パブリックコメントを行い、広く市民の皆様にご意見をいただくことを予定しています。併せて、アフターコロナなど、今日的な状況を踏まえて、市民説明会も開催したいと考えています。

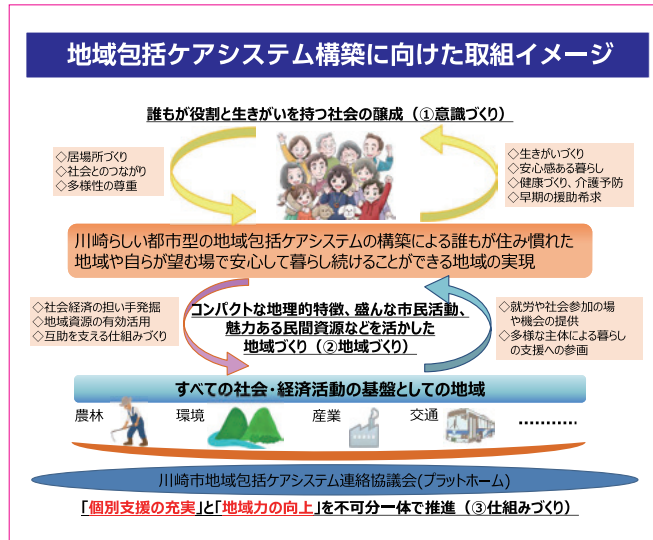
実際にこうした取組を推進していくためには、住民の暮らしを見守り、安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組まれている民生委員児童

委員の皆様のお力添えは不可欠です。

皆様のより良い活動環境づくりに向けましては、今年度から、「地域支え合い人財づくりワークショップ・ツアー」、各地区民生委員児童委員協議会でまとめていただいた「地域版活動強化方策」の分析を通じた活動の見える化、周知等をおこなってまいります。

こうした取組を進めながら、皆様に忌憚のない御意見をいただき、より良い活動環境づくりを進めるとともに、人財の確保につなげていきたいと考えております。

民生委員児童委員の皆様をはじめとした、地域で御活躍の皆様との更なる連携とともに、民間企業など、多様な主体との連携も模索しながら、地域福祉の推進、川崎市における地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。引き続き、御理解・御協力いただきたいと思います。と存じます。





# 令和5年度 表彰の紹介

～おめでとうございます～

(順不同、敬称略)

## 第92回全国民生委員児童委員大会

期日：令和5年11月21日(火)～22日(水)

会場：広島グリーンアリーナ他

### 全国民生委員児童委員連合会会長表彰

#### ◎優良民生委員児童委員協議会表彰

御幸西第二地区民生委員児童委員協議会  
(笠原 好美会長)

#### ◎民生委員・児童委員功労者

中村 和子 (中央第二)

#### ◎永年勤続民生委員・児童委員

荻沼 康弘 (中央第一)

鈴木 清一 (渡田)

井上 力男 (田島)

河田 照芳 (御幸西第二)

小金井 周一 (丸子)

尾野村 ひろみ (柿生第一)

## 令和5年度 全国社会福祉大会

期日：令和5年11月15日(水)

会場：浅草公会堂

### 厚生労働大臣表彰

#### ◎民生委員優良活動団体

宮前第三地区民生委員児童委員協議会  
(浮岳 亮仁会長)

### 全国社会福祉協議会会長表彰

#### ◎永年勤続功労者

遠藤 隆三 (田島)

渡邊 繁子 (御幸東第一)

#### ◎民生委員・児童委員功労者

山木 春雄 (田島)

田邊 静江 (大戸第二)

小谷田 實 (宮前五)

— 表紙の写真 —



幸区の編集委員おすすめスポット「加瀬山」を紹介します。

加瀬山は幸区西部にある標高約35mの小高い丘で、ほぼ全体が「夢見ヶ崎公園」として整備されています。四季折々の植物などを楽しむことができ、園内には市内唯一の動物園である、「夢見ヶ崎動物公園」があります。加瀬山の東端に建設された「戦没者慰霊塔」では、毎年8月15日に川崎市戦没者・戦災者追悼式が執り行われます。

(川崎市ホームページより一部引用)

## 編集後記

情報誌編集委員 浮岳 亮仁

この情報誌に目を通しながら、「この民児協はがんばっているなあ」とか「この取り組みはいいなあ」と思う反面、「自分は民生委員らしい活動を全然していない」とか、「うちの民児協はだめだなあ」などと何となく落ちこんだことはありませんか？

民生委員児童委員の活動は多岐にわたり、様々な情報を集めることはその大事な一つですが、この情報誌がその一助になれば幸いです。



### 情報誌編集委員会

委員長	山木 春雄
副委員長	浮岳 亮仁
委員	三ツ森のり子
	網屋 英子
	田邊 達夫
	飯田 嘉徳
	一柳 宗義
大沼 洋子	
関 清恵	



ホームページをご活用ください

